

# 令和 6 年度事業実績報告書

社会福祉法人千歳会

# 目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
----------------------	---

## 【特別養護老人ホーム部門】

特別養護老人ホームちとせ稲毛・・・・・・・・	3～8
居宅介護支援センターみはま・・・・・・・・	9
特別養護老人ホームちとせ小町・・・・・・・・	10～16
デイサービスセンターちとせ小町・・・・・・・・	17～20
特別養護老人ホームちとせ北本・・・・・・・・	21～26

## 【ケアハウス部門】

ケアハウスちとせ・・・・・・・・・・・・・・・・	27～31
デイサービスセンターちとせ・・・・・・・・	32～34
居宅介護支援センターちとせ・・・・・・・・	35～36
訪問介護ステーションちとせ・・・・・・・・	37～38
ケアハウスこまち墨田館・・・・・・・・	39～43

## はじめに

社会福祉法人制度は昭和26年社会福祉事業法成立から今日に至る中で財源が税金から社会保険等の限定された制度となり、社会保障費が増大し、直接的に利用者への説明や財源を負担する者への説明責任有することなど、その環境は大幅に変化しました。

そのような中で行われた社会保障制度改革は、これまでの個々の社会福祉事業ではなく、社会福祉法人としての存在意義（他の主体との違い）、公共性や公益性や非営利性（税制との関係）、自律性（社会福祉法人としての主体的な取り組みの重要性）など、経営の「在り方」そのものが問われおり、改善へ向けた具体的な動きが社会的に求められています。一方、過去令和3年度の介護報酬改定では、0.7%のプラス改定となりましたが、このうち、0.05%は新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価でした。このことは、全サービスの基本報酬が引き上げに至った結果に対しても、制度内収入を基盤とした社会福祉法人にとっては、全国的に厳しい経営を強いられる状況が継続した1年でした。

このような中で、令和6年度の経営方針に基づき当法人は、これまで以上に透明性及び公共性の高い組織統治を行うとともに、地域の多様な福祉課題に先駆的に取り組み、その実践を発信してまいりました。同時に、安定的な事業継続の為に、既存の施設を活用しながら、介護報酬における加算取得をはじめとした収入増のための施策を積極的に図るとともに、既存のサービスの質を落とすことなく、コスト削減に努めました。

最重要課題である介護人材確保対策については、この国の人口構造からなる将来的なマンパワー減少を見据え、質の高い介護人材の確保及び定着の為に、研修制度の強化等による職員の資質の向上や、資格取得支援制度等の強化によるキャリア形成の施策を積極的に実施することにより、「魅力ある職場づくり」と「心豊かな人材育成」を目指し、安定的な人材確保に努めました。

以上により、当法人のサービスをお選びいただいた全てのご利用者様が、これまで以上に心から長寿を喜び、今この瞬間が輝きに満ちて、加齢を恐れずに毎日を楽しんで生きる暮らしの実現するため、『明日の先をつくる』という法人理念の原点に立って地域福祉の向上に貢献した1年であったと認識しております。

引き続き、職員一同で理念実現を目指し、行動指針に沿ったより良いサービス提供を地域の中で目指してまいります。

社会福祉法人 千歳会  
理事長 左 敬 真

## 特別養護老人ホームちとせ稲毛

### 【概況】

令和6年度は、法人理念の実現に向けた行動指針を職員一人ひとりに浸透し、理念をどのようにして実現できるかを考え、取り組んだ年度となりました。法人が掲げる、3つのあきらめないを叶える為、それぞれのユニットが考え、行動に移しております。特に入居者様の「食べる喜びをあきらめない」に力を入れ、食事に関係するイベント、行事を多く開催致しました。

施設内の感染症流行に留意しながらお客様の面会時間や面会人数を緩和し多くのご家族に来館していただく事ができました。又、家族会を始め、夏祭りや外出行事等、入居者様とご家族様が共に参加出来る行事を開催する事が出来ました。同時に、ご家族との交流や意見交換の場を設けることが出来ております。

地域との関りでは、地域ケア会議の参加を始め、ボランティア団体や近隣の学校とも交流を持ち、地域住民との関係性の構築に努めて参りました。

### 【事業の状況】

#### 1. 施設運営の基本的考え方

施設理念の「その人らしく生きる人生」を第一に考えて行動する。  
を法人の行動指針に沿って職員一人ひとりがよく考え行動しより質の高いサービスが提供できる様に努めて参りました。

#### 2. 主な取組み

##### (1) お客様へのサービス

##### (食事)

「入居者様が食べたい物を食べられる」を食事の目標として、厨房、管理栄養士、介護職員、看護師等それぞれが役割分担を担えるよう努めました。嚥下機能の確認等をする為に、訪問歯科の医師、歯科衛生士と協力しミールラウンドを実施し、お客様の食事の摂取状況や嚥下機能の確認を行い、食べたい物を食べるを叶えて参りました。

##### (排泄)

「快適な排泄」と排泄の目標として取り組んでまいりました。  
各ユニットにて医務と連携し適切な下剤による排便コントロールを行ってまいりました。

#### (入浴)

ユニット内の個浴を活用すると共にお客様の状態に合わせて各フロアにあるリフト浴、寝台浴の活用をしておりますが、入居者様の身体状況は日々変化があります。都度見直しを行い、安全に入浴していただけるよう取り組みました。

#### (運動)

機能訓練士3名の体制により、お客様への訓練時間が週2回30分程になり、お客様やご家族様の訓練要望も多くなり外部訪問マッサージを活用し要望に添えるような形で対応致しました。

#### (医療)

高洲訪問クリニックと連携しお客様の健康管理を行っており、毎週木曜日に主治医往診をして頂き、日中・夜間も含めオンコール医師と連携し状態悪化時など柔軟に対応して頂いております。

### (2) 人材確保、教育

年度を通して、採用については常時求人票や就職フェアなどで採用活動をしてまいりました。

研修についても、ちとせアカデミーによる年間の研修スケジュールで法定研修とスキルアップ研修、階層別研修を対面研修及びリモートによる研修を実施しオンデマンドを配信して全職員が受講できる体制を組み立て実施いたしました。

特定技能人材(外国人)の指導については、令和6年度に新たに3名の特定技能人材の受け入れを行い、内2名は過去、受け入れをしたことのない国籍(ミャンマー)であり、日本語の理解がこれまでよりも乏しい状況であった。翻訳ツールの活用や千歳会マニュアルを母国語に翻訳して指導する等の対応をしている。外国人人材への指導方法が現在も課題としてあるが、個人に合わせた指導方法で教育を行っている。

### (3) 地域交流、貢献

8月に地域交流の一環として、納涼祭を開催しご家族様や近隣住民の方など多くの来賓者様もお越し頂きました。面会についても感染を留意しながらより多くのご家族が面会できる様に時間帯や人数制限の解除を行い実施し致しました。また、地域のケア会議の参加、安全パトロールの参加を行い地域交流として参加しております。

(4) 収益の改善

協力医療機関との連携を密にし、入居者の情報共有をする場を設ける事で令和7年1月より、協力医療機関連携加算Ⅱの算定を開始。

4,240円/月の増収。又、協力歯科との協力の基、全入居者様に嚥下機能テスト(水飲みテスト)を実施。嚥下機能に課題のある入居者様に対し経口維持加算Ⅰ・Ⅱの算定を開始。160,200円/月(該当者30名)の増収としました。

3. 年間入居状況(毎月1日現在) 定員:100名(長期80名・短期20名)

( )内はうち短期入所利用者数

年 月	男性(名)	女性(名)	合計(名)
令和6年 4月	19(5)	76(13)	95(18)
5月	20(6)	76(13)	96(19)
6月	18(6)	78(15)	96(21)
7月	15(5)	81(14)	96(19)
8月	17(7)	78(15)	95(22)
9月	19(5)	78(16)	97(21)
10月	21(6)	79(18)	100(24)
11月	15(7)	77(13)	92(20)
12月	21(6)	78(14)	99(20)
令和7年 1月	22(7)	75(13)	97(20)
2月	20(7)	77(15)	97(22)
3月	22(9)	71(12)	93(21)

4. 年間稼働率: 96%

5. 入居者年齢別表(令和7年3月31日現在)

( )内はうち短期入所利用者数

年齢層	男性(名)	女性(名)	合計(名)
60歳~64歳	0	0	0
65歳~69歳	0	0	0
70歳~74歳	0	4(0)	4(0)
75歳~79歳	5(1)	6(2)	11(3)
80歳~84歳	2(0)	8(2)	10(2)
85歳~89歳	3(2)	24(6)	27(8)

90 歳～94 歳	6 (2)	22 (4)	28 (6)
95 歳～99 歳	2 (0)	12 (2)	14 (2)
100 歳～104 歳	0	1 (0)	1 (0)
105 歳～	0	0	0
合計	18 (5)	77 (16)	95 (21)

6. 平均年齢（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性： 86 歳 女性： 88 歳 平均：88 歳

7. 要介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護 1	3 (3)	3 (2)	6 (5)
要介護 2	1 (1)	0 (0)	1 (1)
要介護 3	4 (0)	12 (4)	16 (4)
要介護 4	11 (4)	23 (3)	34 (7)
要介護 5	3 (1)	33 (3)	36 (4)
合計	22 (9)	71 (12)	93 (21)

8. 平均要介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性：要介護 3.4 女性：要介護 4.5 平均：要介護 4.0

9. 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	6	22	28
退居者数	9	11	20

10. 入居待機者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性 15 名 女性 30 名 合計 45 名

11. 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和 6 年 4 月	4	71
5 月	5	59
6 月	4	68
7 月	10	174

8 月	5	79
9 月	5	70
10 月	7	92
11 月	7	128
12 月	6	99
令和 7 年 1 月	5	82
2 月	3	39
3 月	3	25
合 計	64	986

## 1 2. 教育、研修

### (施設内研修)

開催日	研修内容
4 月	新規採用職員研修
5 月	ファーストステップ研修(基本的介護技術)、
6 月	介護事故防止研修
7 月	感染症対策研修(食中毒)
8 月	虐待防止研修(基礎知識)
9 月	身体拘束廃止研修(基礎知識)
10 月	介護事故防止研修(基礎知識)
11 月	感染症対策研修(基礎知識)、スタンダード・プロシージャ(訓練)
12 月	看取り研修(基礎・事例)
1 月	虐待防止研修(不適切行為について)
2 月	身体拘束廃止研修(事例検討)
3 月	業務理念に関するワークショップ(理念とサービスの関係性) 理念教育(雇用する側とされる側の考えかた)

### (施設外研修)

4 月	看取り介護研修
6 月	自己成長セミナー
8 月	権利擁護、身体拘束廃止研修
10 月	ユニットリーダー研修
12 月	実習指導者研修
1 月	防火管理者研修



### 1 3. 開催イベント

ご家族を招待してのイベントも開催し、お客様とご一緒に楽しんで頂きました。

開催月	イベント内容
令和 6 年 4 月	お花見（外出） 食事レク
5 月	母の日、端午の節句 食事レク
6 月	父の日 食事レク
7 月	食事レク
8 月	夏祭り(ご家族、地域参加) 食事レク
9 月	敬老会（ご家族参加）介護旅行 食事レク
10 月	食事レク ハロウィン
11 月	感謝祭 介護旅行 食事レク
12 月	クリスマス会、餅つき そば打ち 食事レク
令和 7 年 1 月	正月レク 食事レク
2 月	節分 バレンタイン 介護旅行 食事レク
3 月	雛祭り 食事レク

以上

## 居宅介護支援センターみはま

### 【概況】

令和6年度は、年間延べ525件のケアプラン作成業務を行いました。令和6年10月より、管理者及び所属介護支援専門員の変更があり、改めて地域や事業所との関係性構築を図った年となりました。

居宅介護支援専門員1名の受け持ち件数を100%に近づける為、千葉市内の地域包括支援センターに向けた営業活動を強化し、新規獲得に努めて参りました。

法人内事業所への紹介には特に注力し、ケアハウスや短期入所生活介護を始めとし、特別養護老人ホームへの長期入居者紹介についても強化に努め、サービス利用を繋ぐ橋渡し役として活動した一年ともなりました。

今後も地域のご利用者様の受け入れ、困難ケース等の受け入れを積極的行うこと。各事業所と情報を共有し、迅速なサービス提供対応を心掛け、一人のお客様の暮らしを法人内で支えることができる体制を整えて参ります。

### 1. 年間請求実績

年 月	介 護	予防事業	総合事業	合計 (件)
令和6年 4月	52	17	0	99
5月	51	17	0	68
6月	53	18	0	71
7月	9	0	0	9
8月	9	0	0	9
9月	9	0	0	9
10月	8	0	0	8
11月	15	6	1	22
12月	17	9	1	27
令和7年 1月	43	29	2	74
2月	44	27	2	73
3月	53	28	5	86

### 2. 平均要介護度：1.26（令和7年3月31日現在）

### 3. 平均単価

・ 予防＋総合事業：5,696 円／人

・ 介護：14,112 円／人

以上

## 特別養護老人ホームちとせ小町

### 【概況】

令和 6 年度、ちとせ小町では、法人理念である「一人ひとりの人生を豊かに」をさらに深く実践するため、組織的かつ多面的な取り組みを進めました。令和 5 年度から定着を図ってきた行動指針は、日々のケアや職員間の対話、会議運営の中に自然と取り入れられ、職員一人ひとりの意識変化を促しながら、より柔軟で一体感のあるケア体制の構築へとつながりました。年齢や立場、国籍を問わず意見を出し合える職場風土が根づき、多様性を活かしたチームワークの中で、離職率の低下や定着率の向上といった成果も現れています。

また、地域とのつながりを重視する姿勢は、防災訓練への積極的な参加や、地域ボランティア推進委員会への参画、さらにはプロレス観戦イベントなどの地域交流行事を通じて具体化されました。ご入居様様が地域と再び接点を持ち、笑顔で社会的交流を楽しめる機会が広がるとともに、施設に対する地域の理解と信頼も深まりました。

さらに、ユニットケア推進委員会の発足によって、ユニットごとのケアの質向上と接遇の見直しが進められ、「その人らしさ」に寄り添う個別ケアの実現に向けて職員全体の意識が高まりました。加えて、多国籍の職員を迎える中で、文化・言語・価値観の違いを尊重しながら教育体制を整備し、外国人職員が日本の介護技術やマナーを学び、現場での実践に繋げられるよう支援しました。

このように、令和 6 年度は、理念に基づいたケアの質の追求と、地域に開かれた施設運営、そして人材育成とチーム力の強化が着実に進んだ一年となりました。

### 事業の状況

#### 1. 施設運営

##### (1) 外国人職員の教育体制の強化

現在、6 か国 12 名の外国籍職員が在籍し、国籍を超えたチームケアを展開しています。令和 6 年度は外国籍職員に対して、日本語の学習に加えて、日本の介護技術や接遇マナーを学ぶための研修も開始しました。研修では、日本文化や習慣、言葉の使い方にも触れ、コミュニケーションの円滑化を図っています。こうした取り組みにより、外国籍職員からは「敬語や尊敬語を学びたい」といった声も自発的に上がるようになり、意識の変化が見られています。研修を通じて、彼らが将来的に

母国で介護スキルを活かし、世界の介護水準の向上に貢献できることを期待しています。

## (2) 収益の改善

令和 7 年 1 月より、経口維持加算Ⅰ・Ⅱを算定開始しました。施設内の各専門職に加えて、協力歯科医療機関にも協力頂き経口維持会議の発足、ミールラウンドの定期実施体制を整えました。これにより、162 千円／円の増収となりました。お客様の経口摂取を維持するため、施設全体で取り組んでいます。

## (3) 働きやすい職場環境の実現

令和 6 年度、ちとせ小町の介護職離職率は 5.7%と、全国平均 13.1%を大きく下回る結果となりました。この定着率の高さの背景には、年齢や上下関係を超えたフラットな職場風土と、6 か国からなる多様な職員による多文化共生の体制があります。全員が「お客様のために何ができるか」を軸に行動し、働きがいと職場の定着につながる環境が整ってきています。

(4) ユニットケアの質向上を目的として、ユニットリーダーを中心に各専門職が参加するユニットケア推進委員会を新たに発足しました。この委員会では、毎月定例会議を開催し、ケアの在り方や接遇の見直しについて意見を交わしています。特に、挨拶や身だしなみなど日常の何気ない振る舞いを振り返ることで、職員一人ひとりの接遇意識が高まりました。ご入居様様の好みや生活習慣に配慮した個別ケアの実践が進み、ご家族との会話や信頼関係も深まっています。

## (5) 事故予防・リスクマネジメントの強化

重大事故の未然防止を目的に、ヒヤリハットの共有体制を強化しました。介護ソフトへの記録を徹底し、朝礼・夕礼での情報共有、そして月 1 回のユニット会議でのデータ集約と分析を通じて、事故防止に取り組んでいます。各ユニットで発生した事例を施設全体の課題として捉え、事故防止委員会にて再発防止策を検討することにより、職員全体のリスク管理意識が高まっています。

## 2. 新卒採用・専門学校連携

### (1) 専門学校実習生の受入れ

施設の実習受入体制を強化すべく、フロアリーダー2名が介護福祉士実習指導者講習を受講し修了しました。令和6年度は国際福祉カレッジ1年生4名と、大原医療福祉専門学校1年生4名の実習生の受入れを行い、専門学校との良好な関係を築くことができました。今後、新卒者採用に繋がるよう、さらなる関係強化を図ります。

### (2) 新卒採用・セミナー実施

成田国際福祉専門学校より依頼があり、令和7年2月に学校が主催の介護セミナーに理事長が講話致しました。これから社会福祉の現場に立つ学生へ、介護士のやりがいや魅力を伝え、学生の介護に対する意欲の向上に繋がりました。また、成田国際福祉専門学校と良好な関係を築く事ができ、令和7年4月の新卒者1名を採用することができました。

## 3. 地域社会との連携

### (1) 地域防災訓練に参加

災害時の対応力を高めるため、令和6年11月に佐倉市及び白銀自治会と連携した合同防災訓練に参加しました。災害時における重度の障害をかかえる児童をちとせ小町に受入れる実践的な避難訓練を実施し、災害に備えるスキル強化と、地域との信頼関係を深めることができました。

### (2) 地域ボランティア推進委員会の参加

地域ボランティア推進委員会への参画により、外部ボランティアの受け入れ体制を整え、地域住民と協力して福祉活動を推進することで、施設と地域との信頼関係の構築に繋がりました。

■ 稼働率、平均介護度、入院等実績

(1) 年間入居状況（毎月 1 日現在） 定員：100 名

( ) 内はうち短期入所利用者数

年 月	男性（名）	女性（名）	合計（名）
令和 6 年 4 月	30	67 (1)	97 (1)
5 月	29	67	96
6 月	31 (1)	67 (2)	98 (3)
7 月	29 (1)	66 (3)	95 (4)
8 月	30 (1)	65 (2)	95 (3)
9 月	31	67 (6)	98 (6)
10 月	31 (2)	67 (5)	98 (7)
11 月	28	65 (2)	93 (2)
12 月	31 (1)	67 (5)	98 (6)
令和 7 年 1 月	32 (1)	67 (3)	99 (4)
2 月	31 (1)	67 (3)	98 (3)
3 月	32 (2)	66 (2)	98 (4)

(2) 年間稼働率：96.46%

(3) 入居者年齢別表（令和 7 年 3 月 31 日現在）

( ) 内はうち短期入所利用者数

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
65 歳未満	2	0	2
65 歳～69 歳	1(1)	3	4
70 歳～74 歳	2	2	4
75 歳～79 歳	6	7(1)	13
80 歳～84 歳	4	11	15
85 歳～89 歳	9(1)	19(1)	28
90 歳～94 歳	6	12	18
95 歳～99 歳	2	10	12
100 歳以上	0	2	2
合計	32	66	98

(4) 平均年齢（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性：83 歳      女性：87 歳      平均：85.7 歳

(5) 介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	0	0
要介護 3	8	17 (2)	25
要介護 4	19 (2)	28	47
要介護 5	5	21	26
合計	31	68	99

(6) 平均介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性：要介護 3.90    女性：要介護 4.06    平均：要介護 4.03

(7) 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	11	24	35
退居者数	12	23	35

(8) 入居待機者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性 29 名    女性 27 名    合計 56 名

(9) 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和 6 年 4 月	7	42
5 月	4	94
6 月	7	71
7 月	4	83
8 月	9	132
9 月	3	58
10 月	4	84
11 月	5	125
12 月	3	53

令和7年 1月	6	71
2月	6	90
3月	15	178
合 計	73	1,081

■ 教育、研修  
(施設内研修)

開催月	研修内容
5月	ファーストステップ研修
6月	介護事故防止研修基本的介護技術講習
7月	感染症対策研修－感染予防(食中毒)－
7月	虐待防止研修
7月	介護事故防止研修－基本的介護技術講習－
8月	身体拘束廃止研修－身体拘束防止の基礎知識－
9月	虐待防止研修－虐待防止の基礎知識－
9月	介護事故防止研修－リスクマネジメント－
10月	感染症対策研修－冬季に流行する感染症－
11月	感染症対策訓練
12月	看取り研修
1月	虐待防止研修
2月	身体拘束廃止研修
3月	業務理念に関するワークショップ
3月	理念教育

■ 開催イベント

開催月	イベント内容
令和6年 4月	お花見(外出)、C-1 グランプリ
5月	母の日、こいのぼり外出、プロレス千歳杯
6月	父の日
7月	介護旅行(埼玉)
8月	花火大会



9 月	敬老会、介護旅行（墨田）、機能訓練レク開始
10 月	焼き芋
11 月	千歳会感謝祭、救急講習、介護旅行（銚子）
12 月	クリスマス会、餅つき
令和 7 年 1 月	お屠蘇ふるまい
2 月	節分、介護旅行（四街道）
3 月	雛祭り、食イベント（お刺身）

以上

## デイサービスセンターちとせ小町

### 【概況】

令和 6 年度の運営にあたっては、ご利用者様の意思やご家族の思いを何よりも大切にし、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる支援の充実に努めました。日常生活動作の維持・向上を目的とした機能訓練や、生活に彩りを添える余暇活動を積極的に取り入れることで、「自然と笑顔がこぼれるような居場所づくり」を実現すべく取り組んできました。

新たな試みとしては、季節を感じながら楽しめる外出活動を通じて、歩行訓練の機会を拡充。4月の桜、6月のラベンダー、10月のコスモスなど、四季折々の自然に触れながら身体機能の維持を図る外出支援を行いました。また、ADL維持加算の算定に向けた研修や評価体制の整備にも着手し、サービスの質向上と経営基盤の強化を並行して進めております。

日常的なケアの質向上にも努め、ご自宅での生活を見据えた入浴支援の工夫や、個別性を重視した介助の見直しを図りながら、入浴に関する研修も継続的に実施しています。また、レクリエーション活動については、季節を感じられるような創作活動や飾り付けにお客様にも関わっていただき、生活に彩りとハリをもたらせています。また、手作りランチを通じて食材選びから調理までをお客様とともにやり、生活リハビリの一環としています。

実績については、1日の平均利用者数は15.06人となり、前年度と比較して2.03人の増加。年間を通しての稼働率は79.94%と、前年よりも1.04%おり、安定した利用状況の確保に一定の成果があったものと捉えていますが、新規利用者の獲得数は14名で、前年に比べて2名の減少となっています。また、利用休止・中止者は15名となり、年間の純増数は-1名と、若干の減少傾向が見られ、新規利用者獲得については法人内外との連携を強化してきたものの、休止・中止者数とのバランスが課題として残っており、引き続きサービス内容の見直しや営業体制の充実が求められると考えております。

今後ご利用者のニーズを的確に捉えたサービス提供と、地域との連携強化を通じて、継続的な利用促進および稼働率の安定向上を図っていくよう職員一同努めて参ります。

(1) 年間利用者数（1か月の定員＝450人以下）

定員：月～金曜日 18名、土曜日 10名

年 月	1日の平均利用者数	1か月の合計数	稼働率（%）
令和6年4月	15.27	359	81.9
5月	15.04	365	80.4
6月	13.76	292	71.2
7月	13.70	326	71.8
8月	14.30	347	77.8
9月	15.28	348	83.3
10月	15.37	369	81.3
11月	15.27	360	84.1
12月	15.96	363	86.8
令和7年1月	16.00	359	85.9
2月	15.71	319	79.8
3月	15.12	321	75.0

(2) 平均利用者数：15.06人（前年比＋2.03人）

年間稼働率：79.94%（前年比＋1.04%）

(3) 新規獲得者数：14名（前年比－2名）

利用休止・中止者数：15名

純増数：－1名

(4) 間単価平均（食事代700円含まず）

10,474円／回

(5) 利用者年齢別表（令和7年3月31日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳以下	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	0	0
75歳～79歳	0	3	3

80 歳～84 歳	5	8	13
85 歳～89 歳	4	9	13
90 歳～94 歳	0	5	5
95 歳～99 歳	0	2	2
100 歳～104 歳	0	0	0
合計	9	26	36

(6) 平均年齢

男性：85.00 歳      女性：86.23 歳      全体：85.91 歳

(7) 要介護度（令和 7 年 3 月 3 1 日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	2	2	4
要支援 2	4	1	5
要介護 1	1	13	14
要介護 2	2	5	7
要介護 3	0	5	5
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	0	0
合計	9	27	36

(8) デイサービス行事内容

4 月	お花見外出+桜と一緒に撮影会 春爛漫ダーツ 風船サッカー	10 月	コスモス見学（ふるさと広場） カウボーイゲーム 風船 d e ビンゴ
5 月	春の大運動会 足で輪投げ 風船バレー	11 月	バランスゲーム 秋刀魚焼けたかな？ 秋の大運動会
6 月	体力測定 ラベンダー見学 ザリガニキャッチャー	12 月	体力測定 クリスマス会 張り子の巳作り

7 月	数字を狙え バッティングゲーム 破れ傘玉入れ	1 月	火灯しゲーム 双六ゲーム ガッチャ
8 月	夏祭り ビリヤード ピンボール	2 月	節分（豆まき） じゃんけん相撲 オウンゴール
9 月	体力測定 敬老会 収穫ゲーム	3 月	体力測定 ひな祭り（雛あられすくい） 枯れ木に花を咲かせましょう
各月	お誕生会 移動パン販売 上肢・下肢運動レク シニアヨガ	各月	手作り昼食 手作りおやつ 季節制作（壁飾り作りなど）

以上

## 特別養護老人ホームちとせ北本

### 【概況】

開設から 5 年目を迎え、昨年度からの特養部門、居宅介護支援部門運営の安定化を図ることができました。新たな取り組みとして、法人行動指針でもある「地域の誇りとされる存在になる」としてこども食堂の開催や、コロナ禍が明けてから初めて外出レクリエーションの実施を行ってきました。

令和 6 年 3 月より、面会については大きな制限を設けることなく行ってきました。今年度も継続して、予約なしで人数の制限をすることなくお客様、ご家族様ともにちとせ北本での楽しい時間を過ごしていただきました。特に看取り期の方は面会時間を制限せず、最期の時を一緒に過ごされた方もいました。

稼働について、お客様が新型コロナウイルス感染する状況がありましたが、年間平均稼働率は 96.48% という成績となっております。

### 【ケアの取り組み】

#### (1) 看取りケアについて

令和 6 年度も認定看護師による看取りケアについての施設内研修を開催し、根拠に基づいたエンゼルケアを職員が提供できるよう指導を行いました。その結果、グリーフケアの一環としてのエンゼルケアを実践することができました。また、施設全体で看取りケアに対しての理解を深め、その方の「残された時間」をちとせ北本で過ごしていただくことを大切にしていきました。特に、看取り期は面会の制限をせず、ご家族やペットと過ごす時間をより多く過ごせるよう、職員の体制も整え連絡調整を図ってまいりました。嗜好品のお酒を摂取するなど多職種で試行錯誤しハッピーエンドを創造しました。

お客様をお看取りさせていただいた後は、デスカンファレンスを開催し、症例を振り返ることで職員のグリーフケアを行いました。ケアの改善点を明確にし、次の看取りケアに生かすことができました。

#### (2) 稼働率の安定化

令和 6 年度の平均稼働率は 96.48% でした。継続して最大 104 名のお客様をお迎えできる体制を整えている中、入所の空床で緊急受け入れも含めたショートステイに活用することで稼働率向上に努めました。ショートステイの受け入れについては敏速な対応を心掛け、地域の福祉ニーズに応えることができました。

### (3) 地域社会との対話と交歓

前年度に引き続き入院時における空床ショートステイ受け入れを積極的に行いました。今年度初の試みとしては、こども食堂の開催し。こどもだけではなく地域住民や市議、北本市社会福祉協議会との交流することができました。そのほか、地域にちとせ北本を知っていただくため、民生委員に向けた研修会の実施、北本市地域会議「ごちゃまぜ会」への出席や、地域の情報ベースである「北本 BASE」に参入し情報交換をすることができました。

### (4) おいしい・楽しい食事の提供

昨年度に引き続き、毎月の「行事食」や月1回の「手作りおやつ」を提供しお客様の好評を得ることができました。ユニットでの食事レクリエーションの開封を増やし、お客様参加型の食事を提供する機会を増やしたり、「ちとせキッチン(料理クラブ)」を月に1回開催をし、回想法をメインにお客様の自立支援に向けた取り組みを行うこともできました。

## 【収益化最大化を目指して(継続施策)】

### (1) 物価高騰に対する対応

令和6年度もあらゆるものの物価高騰が生じたので、継続して相見積もりを取り寄せながら質を落とさず価格を抑えてより良いサービスが提供できるよう努めております。

### (2) 要介護度の見直し

お客様の要介護認定が適正であるかの見直しを定期的に行い、状況に見合った介護が提供できるよう努めてまいりました。今後も継続した取り組みを実施してまいります。

#### ・平均介護度

令和4年度 3.87

令和5年度 3.95

令和6年度 3.89

### (3) 居宅介護支援事業所ちとせ北本との連携

令和5年度から継続して居宅介護支援事業所ちとせ北本と連携を図り、介護者の入院などで急遽自宅で暮らせなくなった方の受け入れを緊急ショートステイとして積極的に行いました。また、地域にむけたイベントの開催も居宅介護支援事業所ちとせ北本を通じて発信し、地域の誇りとなるちとせ北本を目指していきました。

#### (4) 医療依存度高いお客様の受け入れ

昨年度から引き続き経管栄養（経鼻、胃ろう）、瘻孔ケア、バルーンカテーテル、人工透析、膀胱洗浄、在宅酸素使用、インスリン管理の方など、他施設で受け入れ困難な症例を「どうすればちとせ北本で暮らせるか」という視点で検討し、積極的に受け入れを行いました。入居後も、医療的ケアを行いながら、その人らしい暮らしが継続できるよう嘱託医と連携し、生活の質の向上を追求しました。具体的には、瘻孔ケアのケア用品のコスト削減をすることでご家族様の経済的負担の軽減をはかる。人工透析のお客様の水分出納を管理しながら、嗜好品を召し上げる工夫をする。在宅酸素を使用しているお客様の外出する楽しみの支援。経管栄養のお客様へ、経口から嗜好品を味わう楽しみの支援を行いました。

#### (5) 既存加算の算定維持

令和6年度より、新たに『協力医療機関連携加算』『科学的介護推進体制加算Ⅱ』『高齢者等感染対策向上加算Ⅱ』『生活機能向上加算』『自立支援促進加算』という5つの加算を算定する体制を整えることができました。資格を持つ職員や夜勤を希望する職員が減少している中、既存加算を継続して算定することにより、より質の高いサービスを提供することができ、個々のお客様を尊重しながら生活を支援できるので引き続き算定要件を満たす施設運営に取り組んでまいります。

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ・個別機能訓練加算（Ⅰ）（Ⅱ）   | ・栄養マネジメント強化加算 |
| ・看護体制加算（Ⅰ 2）（Ⅱ 2） | ・排せつ支援加算Ⅰ     |
| ・夜勤職員配置加算（Ⅱ 2）    | ・褥瘡マネジメント加算   |
| ・ADL 維持等加算Ⅰ       | ・自立支援促進加算     |
| ・日常生活継続支援加算Ⅱ      | ・科学的介護推進体制加算Ⅱ |
| ・協力医療機関連携加算Ⅰ      | ・介護職員処遇改善加算Ⅰ  |
| ・高齢者等感染対策向上加算Ⅱ    | ・療養食加算        |
| ・精神科医療養指導加算       | ・口腔衛生管理加算（Ⅱ）  |
| ・生産性向上促進体制加算Ⅱ     |               |

#### 【施設行事の取り組み】

コロナウイルスが5類になり、施設内行事だけではなく、今までのように外へ出て楽しんでいただける季節行事を積極的に取り組んでまいりました。外出、外食レクリエーションとして、近隣のエルミ鴻巣で毎年行っている「びっくりひな



祭り」の鑑賞や近くの公園に桜を見にお弁当を持って伺い楽しみました。ご家族と現地集合で待ち合わせをし、久しぶりにお孫様との時間を楽しめた方もおりました。このような機会を作っていただき感謝いたしますという声も聞かれ、外に出る機会が増え、お客様、ご家族様ともに喜んでいただけたと思います。

#### ■令和6年度 各種会議・委員会・クラブ活動

各種会議・委員会・クラブ活動	開催頻度
入所判定会議	毎月1回 開催
施設運営会議	毎月1回 開催
フロアリーダー会議	毎月1回 開催
ユニットリーダー会議	毎月1回 開催
事故防止・身体拘束廃止・虐待防止委員会	毎月1回 開催
感染対策委員会	毎月1回 開催
排泄・褥瘡委員会	毎月1回 開催
衛生委員会／安全衛生委員会	毎月1回 開催
給食委員会	毎月1回 開催
看取り委員会	毎月1回 開催
生産性向上委員会	毎月1回 開催
工作クラブ	毎月4回 開催
ちとせキッチン（料理クラブ）	毎月1回 開催

#### ■稼働率、平均介護度、入院などの実績

① 年間入居状況（毎月1日現在） 定員104名

年 月	男性（名）	女性（名）	合計（名）
令和6年 4月	28(0)	75(0)	103(0)
5月	27(0)	75(1)	102(1)
6月	27(1)	75(2)	102(3)
7月	25(1)	76(1)	101(2)
8月	26(1)	76(1)	102(2)
9月	26(1)	74(2)	100(3)

10 月	24(0)	75(0)	99(0)
11 月	23(0)	71(0)	95(0)
12 月	26(3)	75(5)	101(8)
令和 7 年 1 月	24(0)	72(3)	100(3)
2 月	24(2)	72(1)	100(3)
3 月	22(2)	73(2)	102(4)

② 年間稼働率：96.48%

③ 入居者年齢別表（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（ ） うちは短期入居利用者数

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳～64 歳	0	0	0
65 歳～69 歳	1	2	3
70 歳～74 歳	4	2	6
75 歳～79 歳	2	4	6
80 歳～84 歳	4	12(1)	6(1)
85 歳～89 歳	7	23	30
90 歳～94 歳	3	25(1)	28(1)
95 歳～99 歳	3	9	12
100 歳～104 歳	0	1	1
105 歳～	0	0	0
合計	24	78(2)	102(2)

④ 平均年齢（令和 7 年 3 月 31 日）

男性：84.2 歳 女性：88.1 歳 平均：87.2 歳

⑤ 介護度（令和 7 年 3 月 31 日）

※長期入所のみ

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護 1	1	0	1

要介護 2	1	2	3
要介護 3	5	15	20
要介護 4	10	49	59
要介護 5	6	11	17
区分変更申請中	1	1	2
合計	24	78	102

⑥ 平均介護度（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性：要介護 3.83 女性：要介護 3.90 平均：要介護 3.89

⑦ 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	1 7	4 8	6 5
退去者数	2 1	4 0	6 1

⑧ 入居待機者数（令和 7 年 3 月 31 日）

男性 4 名 女性 6 名 合計 1 0 名

⑨ 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和 6 年 4 月	7	8 3
5 月	7	9 5
6 月	5	7 1
7 月	3	4 2
8 月	5	8 6
9 月	6	9 2
10 月	4	5 8
11 月	4	3 8
12 月	1 1	9 9
令和 7 年 1 月	9	1 2 0
2 月	8	1 4 1
3 月	8	1 4 5
合 計	7 7	1 0 7 0

以上

## ケアハウスちとせ

### 【概況】

令和6年度は、4月より新型コロナウイルス感染防止に伴う居室訪室の制限を解除しました。これによりご家族の訪問も増え、お客様の外出機会も多くなりました。4月と8月にはお客様に新型コロナウイルス感染が発生しましたが予防措置の徹底により感染拡大には至りませんでした。

日常生活を活性化する上での新たな取り組みとして、外部ボランティアを導入、また、地域との交流を目的として施設の所在する地区の自治会長によるワークショップを行いました。敬老会では他法人の障害者施設入居者および職員による太鼓演奏で交流を深めました。社会とのつながりを保持し、自立した生活を長く続けて行くため、刺激を受けることのできるイベントやレクリエーションの企画運営に努めて参りました。

食事の面では、お客様が自ら圃場で育てた野菜を食事に取り入れ、食べる喜びを実感することで生活を豊かに、生き甲斐を持てるようにして参りました。

また、お客様のご家族にはこまめに連絡を取り、担当する介護支援専門員との情報共有を迅速に行い、自立した生活が営めるよう必要とされる介護サービスを提案し、関係機関と共にお客様の生活の見直しを進めて参りました。引き続き、お客様の生活が潤い活性化し、一日でも長くケアハウスちとせでの生活が続けられるような環境づくりに努めて参ります。

### ■ 詳細状況報告

#### 1、 年間入居者、退居者数

年 月	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
令和6年4月	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	1	1	0	1
6月	1	0	1	0	1	1
7月	0	1	1	0	1	1
8月	0	0	0	0	1	1
9月	2	1	3	1	1	2
10月	1	0	1	0	2	2
11月	1	0	1	0	0	1

12 月	0	0	0	0	0	0
令和 7 年 1 月	0	0	0	0	1	1
2 月	0	2	2	0	1	1
3 月	0	0	0	0	0	0
合 計	6	4	10	2	8	10

2、 年間稼働率  
99.7%

3、 入居者年齢別表（令和 7 年 2 月末日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳以下	0	0	0
60 歳～64 歳	1	0	1
65 歳～69 歳	2	2	4
70 歳～74 歳	1	1	2
75 歳～79 歳	5	1	6
80 歳～84 歳	6	5	11
85 歳～89 歳	3	24	27
90 歳～94 歳	3	3	6
95 歳～99 歳	0	2	2
100 歳～104 歳	0	1	1
合 計	21	39	60

4、 平均年齢  
男性：80.0 歳      女性：86.1 歳      平均：84 歳

5、 要介護度（令和 7 年 2 月末日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	4	6	10
要支援 2	2	7	9
要介護 1	6	11	17
要介護 2	3	5	8

要介護 3	0	2	2
要介護 4	0	0	0
要介護 5	0	0	0
自立	6	8	14
合計	21	39	60

6、 平均介護度

0.75（支援 2 程度）

※要支援は 0.375 基準(厚生労働省 HP より)

7、 入居前住所（令和 7 年 2 末日時点）

住所地	男性（名）	女性（名）	合計（名）
佐倉市内	16	28	44
習志野市	0	1	1
印西市	0	1	1
富里市	1	0	1
成田市	0	1	1
八街市	1	1	2
茂原市	0	1	1
市川市	0	1	1
千葉市	0	1	1
木更津市	1	0	1
四街道市	1	0	1
他県	1	4	5
合計	21	39	60

8、 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	6	4	10
退居者数	2	8	10

9、 平均在所期間

3.6 年

## 10、退居理由

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
死 亡	0	2	2
病気で入院	1	1	2
他施設へ入所	0	5	5
在 宅	1	0	1

## 11、入居待機者数（令和7年2月末日時点）

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
待機者数	1	5	6

## 12、業務改善点

### 【入居者関連】

- ・入居申し込みおよび待機者減少の為、継続的に地域包括支援センターならびに近隣の居宅介護支援事業所を訪問し、関係づくりとパンフレット配布を実施。
- ・空室期間の圧縮と稼働率の改善(1回の入退居につき空室期間7日以内)。
- ・ADLの維持、QOLの向上に繋がる行事の充実化。
- ・定期的な水分摂取が難しい方に向けた給茶機の導入（訪問介護との連携）。
- ・居室環境の確認強化。
- ・毎月のレクリエーションを見直し、外部ボランティアによる「シニアヨガ」や参加型の合唱、工作等を実施。

## 13、年間行事

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里芋植え付け</li> <li>・チューリップ祭</li> <li>・お花見</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいも収穫</li> <li>・コスモス見学</li> <li>・佐倉市花火大会見学</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菖蒲湯</li> <li>・母の日 喫茶</li> <li>・外出カフェ</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き芋</li> <li>・吉野家牛丼提供</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいも植え付け</li> <li>・じゃがいも収穫</li> <li>・父の日 喫茶</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆず湯</li> <li>・ちとせクリスマス会(プロジェクトマッピング)</li> <li>・クリスマス装飾</li> </ul>

7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイカ割り</li> <li>・じゃがいも収穫祭</li> <li>・外出カフェ</li> <li>・かき氷</li> </ul>	1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甘酒喫茶</li> <li>・書初め</li> <li>・餅つき</li> <li>・初日の出</li> <li>・琴の演奏会</li> </ul>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイカ割り</li> </ul>	2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆まき</li> <li>・バレンタインチョコ</li> <li>・厨房企画</li> </ul>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会</li> <li>・外出カフェ</li> </ul>	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな祭り喫茶</li> <li>・じゃがいも植え付け</li> <li>・ちとせバーガー提供</li> </ul>

- 隔月に入居者懇談会、毎月、シニアヨガ、卓球、カレンダー制作、ストレッチ体操、頭の体操、手作業(手芸、工芸)、ちとせカフェ、日曜喫茶、散歩、買い物ツアーを行いました。
- 毎月第3週目はハッピーランチ週間として、海鮮、ご膳、天ぷら、鍋(冬季)などバラエティーに富んだメニューを提供しました。
- ブログも、ここでの生活をご家族や、入居希望者、入職希望者に理解して頂けるようにこまめに発信してまいりました。
- 法人が企画する介護旅行には、5回で延べ41名のお客様が参加し、観光と訪問先での食事を楽しんで下さいました。
- 3月からは敷地内でスーパーかすみによる移動販売の毎週実施を開始しました。地域の方々やデイサービスセンターちとせも含め、お客様に喜ばれています。

以上



## デイサービスセンターちとせ

### 【概況】

令和6年度は、前年度の取り組みが評価され、平均利用延人員数が増加したことにより、通常規模デイサービスから大規模デイサービスへの変更がありました。行動指針を基に、職員一人ひとりがサービスの質を高め、「また来たいデイサービス」を作りするという施策がお客様に認められたものと自負しています。

その中の取り組みの一つに、期間限定のスタンプカードを作り、来所毎に1個スタンプを押すというイベントを行い、お客様に利用日の全来所を目指して頂きました。これにより令和6年9-10月では、対前年同期比で稼働率3.8%、利用者数58人の増加を実現することができました。

また、C-1グランプリでは、介護職員と協力して、認知症のお客様への入浴介助方法で、賞を頂くことが出来ました。今後も、介護力と接遇の品質向上に努め、デイサービスセンターちとせを地域に発信して参ります。

### 1、年間利用者数 定員：35名

年 月	1日の平均利用者数	1か月の合計数	稼働率 (%)
令和6年4月	31.1	808	88.8
5月	31.7	857	90.6
6月	32.0	799	91.3
7月	30.7	828	87.6
8月	28.4	766	81.0
9月	30.9	773	88.6
10月	30.2	816	86.2
11月	30.5	794	87.2
12月	31.0	774	88.5
令和6年1月	30.5	762	87.0
2月	30.6	764	87.3
3月	30.8	801	88.0

### 2、平均利用者数：30.7人

年間稼働率：87.6%

要介護者平均利用回数／週：2.7回

- 3、 新規獲得者数：28 名  
 利用休止・中止者数：24 名  
 純増数：4 名

- 4、 年間単価平均（食事代 750 円含まず）  
 平均単価：9,027 円／人

- 5、 利用者年齢別表（令和 7 年 3 月 31 日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳以下	0	0	0
60 歳～64 歳	0	0	0
65 歳～69 歳	0	0	0
70 歳～74 歳	1	3	4
75 歳～79 歳	5	3	8
80 歳～84 歳	10	9	19
85 歳～89 歳	6	22	28
90 歳～94 歳	7	6	13
95 歳～99 歳	0	8	8
100 歳～104 歳	0	2	2
合計	29	53	82

- 6、 平均年齢  
 男性：84.1 歳      女性：87.4 歳      全体：86.2 歳

- 7、 要介護度（令和 7 年 3 月 31 日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	4	2	6
要支援 2	3	11	14
要介護 1	6	20	26
要介護 2	9	10	19
要介護 3	7	5	12
要介護 4	0	4	4
要介護 5	0	1	1
合計	29	53	82

# 8、 デイサービス行事内容

4 月	・ お花見ドライブ	10 月	・ 焼き芋 ・ 秋の運動会 ・ ハロウィン祭り
5 月	・ クレープ喫茶	11 月	・ クレープ作り ・ 吉野家牛丼 ・ 紅葉ドライブ
6 月	・ 買い物ツアー(しまむら)	12 月	・ クリスマスパティー ・ ちとせ忘年会
7 月	・ 夏祭り ・ 夏の運動会	1 月	・ 初詣 ・ 新年会
8 月	・ 納涼祭	2 月	・ 節分 ・ バレンタインカフェ
9 月	・ 新米おにぎり会 ・ 敬老会	3 月	・ ひな祭り ・ 事例発表会 ・ 河津桜お花見 ・ ホワイトデーカフェ ・ ハンバーガーカフェ
各月	・ 上映会、誕生会 ・ パン販売 ・ 音楽セラピー	各月	・ ハッピーランチ週間 ・ 合唱会 ・ 手作業の日

以上

## 居宅介護支援センターちとせ

### 【概況】

令和 6 年度は、主任介護支援専門員が令和 6 年 12 月末退職に伴い、後任となる主任介護支援専門員を手配できず、不本意ながら令和 7 年 1 月 1 日より事業所休止を佐倉市に申請し受理されました。

休止に伴い、ケアプランを作成しているお客様については、在籍する介護支援専門員 1 名を法人内の居宅介護支援センターみはま所属とし、法人内で 40 名の担当を継続する一方、主任介護支援専門員退職により法人内で支援継続ができないお客様については、懇意にする地域の居宅介護支援事業所に 29 名を移管しました。

事業所については、管理者とする主任介護支援専門員を採用し、令和 7 年 6 月末を期限として再開するよう準備を進めています。併せて、事業所の管理体制の適正を再点検し、再開に向けた体制整備を進めています。

事業所再開後は、ケアハウスちとせおよびデイサービスセンターちとせならびに訪問介護ステーションちとせとの連携により、地域の高齢者の暮らしを包括的に支援できるよう努めます。

### 1. 年間請求実績

年 月	介 護	予防事業	総合事業	合計（件）
令和 6 年 4 月	81	33	19	133
5 月	82	32	18	132
6 月	76	32	18	126
7 月	78	33	18	129
8 月	80	33	19	132
9 月	82	33	19	134
10 月	82	33	19	134
11 月	22	16	4	42
12 月	17	8	2	27
令和 7 年 1 月	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0

2. 平均要介護度：1.26（令和 6 年 3 月 31 日現在）

3. 平均単価

・ 予防＋総合事業：4,686 円／人

・ 介護：16,756 円／人

以上

## 訪問介護ステーションちとせ

### 【概況】

令和6年度は、9月に敬徳会きわみ訪問介護事業所と統合しました。お客様に負担の無いよう職員の勤務調整を行い、同年8月中に敬徳会職員との同行訪問と契約を進め、既存のお客様と訪問時間や訪問日の調整等を行いました。きわみ訪問介護事業所より職員1名が転籍、19名のお客様、約100件の訪問を引き継ぎ、円滑に9月よりスタートすることができました。

令和7年1月には入院や入所等で立て続きにお客様が終了し、一時的に1月2月の訪問件数が減少しました。しかし、積極的に営業活動を行い、2月下旬から3月にかけて7件の新規契約に結び付け訪問関数を回復、ほぼ空き枠が無い状態まで回復させました。

状態悪化による訪問件数増加後に訪問終了した場合の収入減少については、昨年度より課題でしたが、ケアマネジャーに相談し、複数事業所で訪問し、リスク分散する提案を受け入れて頂くことで対応しました。

職員教育は事業所内研修を通し、行動指針に沿った考えや行動を行えるよう指導しました。結果、職員の意識が向上し、職員の考え方、感じ方等が前向きになり、会議でも積極的に発言し、業務改善にも自ら積極的に取り組むようになりました。職員全体の技術向上を企図し、実技研修や同行訪問も行っています。現在重度のお客様が少ない為、特養ちとせ小町の協力を得てオムツ研修も実施しました。今後も職員研修を継続し技術力向上を目指していきます。

### 1、年間利用者数

年 月	1か月の利用者数 (人)	1か月の訪問件数 (件)	1日あたり訪問件数 (件)
令和6年 4月	58	391	13.0
5月	57	413	13.3
6月	56	393	13.1
7月	55	408	13.2
8月	55	416	13.4
9月	77	513	17.1
10月	77	579	18.7
11月	78	568	18.9
12月	76	540	18.0
令和6年 1月	75	521	18.0
2月	72	506	18.1

3 月	76	550	17.7
-----	----	-----	------

2、 年間平均訪問件数

16.0 件／日

3、 ご利用者年齢別表（令和 7 年 3 月 31 日現在）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
50 歳～54 歳	0	1	1
55 歳～59 歳	0	0	0
60 歳～64 歳	0	1	1
65 歳～69 歳	0	2	2
70 歳～74 歳	1	1	2
75 歳～79 歳	8	2	10
80 歳～84 歳	6	13	19
85 歳～89 歳	5	17	22
90 歳～94 歳	5	10	15
95 歳～99 歳	1	2	3
100 歳～104 歳	0	1	1
合計	26	50	76

4、 平均年齢（令和 7 年 3 月 31 日現在）

男性：83.1 歳      女性：84.6 歳      全体：83.9 歳

5、 要介護度（令和 7 年 3 月 31 日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	6	9	15
要支援 2	7	9	16
要介護 1	5	18	23
要介護 2	6	8	14
要介護 3	1	3	4
要介護 4	0	2	2
要介護 5	1	1	2
合計	26	50	76

平均要介護度 1.21（令和 7 年 3 月 31 日現在）

以上

## ケアハウスこまち墨田館

### 【概況】

令和6年度はコロナウィルス感染症が5類感染症へ移行されたため、引き続き感染症対策を徹底した上で、イベントの企画・実施をいたしました。

ハワイアンイベントにおいては、ボランティアの方々的人数が予想以上に多く、感染対策を徹底しましたが、墨田館内の大きさ、控室などの面も考え今年度の実施を考えていく必要があると感じました。

クリスマス会については、全員参加という嬉しい状況の中で、お客様自らクイズに取り組んで頂き、楽しんで頂くことができました。

食事の面では、食材会社を変更し、生の野菜を使用したり、ひと手間加えた調理を行うことで、残数が大幅に減りました。お客様からも美味しくなったと喜びの声が集まりました。また、すみだ食育フェスティバルに参加し、墨田区のリバーサイドホール前にブースを設けていただき、墨田館・そして千歳会の食を諦めないという法人・左理事長の想いをボード2枚分にわたり掲示させていただきました。

高齢者施設で夢や希望、そして生きがいにまで繋がる食育の大切さを認識・実施しているところは他になく、墨田区の担当課や民間団体にも注目して頂き、令和7年度も引き続き、食育フェスティバルに参加することが決まりました。

そして、地域交流の一環として、かめパンさんとのコラボを企画、高齢の方でも食べやすいパン、大きさ、量などを考えて提供したところ大好評でした。地元にも人気のパン屋さんでとても混みあうため、なかなか買いに行けないとのことでしたが、お客様が食堂で焼き立てパンを食べれることは、見た目、香り、手触りを感じることができ、普段、小食な方や、価格高騰でパンを食べたくてもなかなか食べれない方々に、食べる喜びを実感していただくことで生活を豊かに、生き甲斐を持てるよう、努めてまいりました。

お客様の生活面では、ご家族にこまめに連絡を取り、担当する介護支援専門員との情報共有を迅速に行い、自立した生活が営めるよう必要とされる介護サービスを入れて頂き、関係機関と共にお客様の生活の見直しを行いました。

引き続き、お客様の生活が潤い活性化し、一日でも長くケアハウスこまち墨田館での生活が続けられるような環境づくりに努めて参ります。



## ■ 詳細状況報告

### 1、 年間入居者、退居者数

年 月	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
令和6年4月	0	1	1	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	1	0	1
7月	0	1	1	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	1	1	1	1	2
11月	0	1	1	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
令和7年1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	1	1	0	1	1
合 計	0	5	5	2	2	4

### 2、 年間稼働率 100%

### 3、 入居者年齢別表（令和7年2月末日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳以下	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	1	1
70歳～74歳	0	2	2
75歳～79歳	1	1	2
80歳～84歳	0	3	3
85歳～89歳	0	9	9
90歳～94歳	0	3	3
95歳～99歳	0	0	0
100歳～104歳	0	0	0
合 計	1	19	20

4、 平均年齢

男性：78.0 歳      女性：83.4 歳      平均：83.1 歳

5、 要介護度（令和 7 年 2 月末日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	0	2	2
要支援 2	0	4	4
要介護 1	0	4	4
要介護 2	0	3	3
要介護 3	0	3	3
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	0	0
自立	1	3	3
合計	1	19	20

6、 平均介護度

介護度 1.35

※要支援は 0.375 基準(厚生労働省 HP より)

7、 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	2	18	20
退居者数	1	19	20

8、 退居理由

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
死 亡	0	0	0
病気で入院	0	0	0
他施設へ入所	2	2	4
在 宅	0	0	0

9、 入居機者数（令和 7 年 2 月末日時点）

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
待機者数	8	7	15

## 10、務改善点

### 【入居者関連】

- ・見学者および待機者増大ではあるが、継続的に地域包括支援センターならび、福祉事務所、ケースワーカーとの関係づくりとパンフレット配布を実施。
- ・空室期間の圧縮と稼働率の改善をする
- ・ADLの維持、QOLの向上に繋がる行事の充実化を図る
- ・定期的な水分摂取への促しを行う（訪問医・看護・介護との連携）
- ・居室環境の確認強化をはかる
- ・毎月の習字教室、シニアヨガ、調理レクを通してお客様の生きがいに繋げる

## 11、年間行事

4月	・お花見 ・横浜介護旅行	10月	・墨田区フレンチイベント ・ミニ運動会 ・
5月	・菖蒲湯 ・母の日 ・カメパン合同イベント	11月	・ハワイアンイベント ・感謝祭
6月	・青空ランチ ・父の日 ・墨田区食育フェスティバル	12月	・クリスマス会 ・忘年会 ・
7月	・七夕 ・隅田川花火大会 ・ビューティタッチセラピー	1月	・新年会 ・書初め ・甘酒喫茶
8月	・隅田川灯籠流し ・スイカ割り ・かき氷	2月	・こうめお食事会 ・バレンタイン ・開所記念イベント
9月	・敬老会	3月	・ひな祭り

- 毎日ラジオ体操、脳トレを継続
- 毎月、お客様全体懇談会、習字教室、シニアヨガを開催する
- 調理レクでは、ローテーションでお手伝いをして頂き、食材を選ぶ楽しさ、作る楽しさ、提供し感謝される喜びなども感じて頂き、また手伝った方々への感謝の心が芽生える
- ブログは、墨田館らしい生活をご家族様、入居希望の皆様、入職希望者の方々、福祉施設に興味がある方々への情報提供としてアップ
- 法人が企画する介護旅行については、楽しみにされているお客様が安心して参加できるように付き添う

以上